

事務事業名 パープルプラザフェスタ事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：649

施策：	05	生涯学習社会の推進	財務コード	01090602-11-538
基本事業：	01	学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	生涯学習に関する講座・教室等の満足度		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民、地域活動・学習活動団体		【パープルプラザフェスタ】 開催日：10月第4月曜日前の土・日の2日間 内容：作品展示、ステージ発表など 備考：主要3団体で実行委員会を結成、企画運営を行う。人権政策・男女共同参画、教育政策、農政に関する行政の啓発活動も実施。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
学習グループが、日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
来場者数（パープルプラザ）	人	3,157	3,034	3,200	3,200			5,000
参加団体数（パープルプラザ）	団体	51	65	60	65			130

5. コスト								
事業費	計	千円	1,803	1,204	1,548	1,832		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数	人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費	千円	2,345	2,407	2,514				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	4,148	3,611	4,062	1,832			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない (停滞・低下)	（状況）来場者数は123人減、参加団体数は14団体増加した。 （原因）関係団体に利用を促したことや、令和6年度からリサイクルバザーを実施したことにより参加団体数が増加したものと考えます。 令和6年度は参加団体の代表者全員を対象とした全体説明会を開催し、参加団体がより主体的に運営に関わる機運醸成を図った。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	増加	類似事業	なし	市民協働のフェスティバルにしていくために、実行委員会の中で、より具体的な協議を行い、企画案を検討していく必要がある。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	大きい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
パープルプラザフェスタは実行委員会により構成されているが、高齢化などにより脆弱している団体もあり、実行委員会の構成の在り方・フェスタ運営のそのものを見直す必要がある。				市民協働のフェスティバルが本来の趣旨であるため、参加団体がより主体的に運営に関わる必要がある。				

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
生涯学習センター閉館の平成13年度から生涯学習フェスティバルを開催し、平成14年度から文化会館、カミーリヤ、農トレと開催時期をずらして開催することにした。 令和4年度からは市生涯学習フェスティバルの統一名称を終了した。				市民団体との協議を充分に行いながら、市民協働のフェスティバルに変えていくために、平成23年度からそれぞれのフェスタで実行委員会を結成し、細かな対応ができるようにした。				